

平成
21年

夏の交通安全運動

7月17日(金)～7月26日(日)

北海道実施要綱



運動の重点

- 子どもの交通事故防止
- 二輪車・自転車の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用
- 交差点の交通事故防止

期間中に実施する取組

セーフティコール7月17日(金)～全道統一行動日

- 街頭啓発や住民集会等の啓発活動
- 子どもの交通安全指導
- 高齢者の交通安全指導
- シートベルト・チャイルドシート着用指導
- 交通事故の多い交差点における啓発
- 二輪車事故防止の啓発指導
- 自転車の安全利用の啓発指導
- 事故多発地域における夕暮れ時等のパトライト作戦
- 飲酒運転根絶の啓発活動

主催

北海道、札幌市、市町村、北海道警察、北海道教育委員会、(社)北海道交通安全推進委員会、(財)北海道交通安全協会
(社)北海道安全運転管理者協会

協賛

北海道開発局、北海道経済産業局、北海道運輸局、札幌管区气象台、北海道総合通信局、北海道労働局、北海道市長会
北海道町村会、北海道旅客鉄道株式会社、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構鉄道建設本部北海道新幹線建設局
東日本高速道路(株)北海道支社、北海道交通安全指導員連絡協議会、北海道交通安全母の会
北海道交通安全活動推進センター、北海道地域交通安全活動推進委員連絡協議会、(社)北海道バス協会
(社)北海道ハイヤー協会、(社)北海道トラック協会、(社)北海道建設業協会

環境生活部生活局くらし安全
交通安全グループ：中山
電話 011-204-5219 (直通)
011-231-4111 (代表)
24-168 (内線)

年間
スローガン

ストップ・ザ・交通事故死

～めざせ安全で安心な北海道～

運動の目的

交通安全を自らのことと捉え交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、道民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図る。

運動の進め方

道、道警、市町村、関係機関・団体等は緊密に連携し、体系的かつ効果的な交通安全運動を展開するとともに、参加・体験・実践型の交通安全教育を推進する。

通年運動 5大キャンペーン

- 高齢者事故防止・夜光反射材普及運動
- 交差点事故防止運動
- スピードダウン運動
- シートベルト着用向上・デイ・ライト運動
- 飲酒運転根絶運動



運動の重点

子どもの交通事故防止

運転者は

子どもを見かけたら、徐行するなど思いやりのある運転をしよう。

家庭では

子どもと一緒に通学路等を歩くなどして、交通ルールの手本を示し、マナーを身につけさせよう。

学校等では

登下校時間帯に通学路での交通安全指導を徹底しよう。

職場では

学校やその周辺を走行するときは、子どもの飛び出しなど、特に注意して走行するよう指導しよう。

地域では

交差点等で、子どもや高齢者を見かけたら声を掛け、安全な横断を手助けしよう。

二輪車・自転車の交通事故防止

運転者は

交差点等では、二輪車・自転車の有無をしっかりと確認しよう。

自転車利用者は

自転車に乗るときは、車道では車の動きに注意して、歩道では歩行者優先を守り、運転しよう。

家庭では

子どもを自転車に乗せるときや二輪車に乗るときは、ヘルメットを着用させよう。

学校等では

自転車の二人乗り、無灯火、携帯電話やヘッドホン使用はしないよう、指導しよう。

地域では

自転車の危険な乗り方を見かけたら注意しよう。

全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用

運転者は

全ての座席の同乗者全員に、シートベルトとチャイルドシートを正しく着用させよう。

家庭では

出かけるときは、全ての座席でシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しているか、みんなで確かめよう。

学校等では

全ての座席のシートベルトとチャイルドシート着用の必要性について理解させ、実践させよう。

職場では

全ての座席のシートベルト着用率100%を徹底するため、シートベルト効果体験会等へ積極的に参加しよう。

地域では

シートベルトとチャイルドシートの着用効果について啓発しよう。

交差点の交通事故防止

運転者は

交差点やその付近は、事故多発地帯であることを認識し、特に注意して運転しよう。

家庭では

交差点等における安全な歩行や走行について、家族みんなで話し合おう。

学校等では

交差点等における交通事故が多いことを認識させ、特に注意して歩行・横断するように指導しよう。

職場では

交差点やその周辺を走行するときは、特に注意して走行するよう指導しよう。

地域では

交差点やその周辺において交通事故を呼び掛ける街頭啓発を実施しよう。

交通事故概況等について

道環境生活部くらし安全課
平成21年7月17日

◎ 交通死亡事故発生状況

1 支庁別交通死亡事故発生状況

(1) 平成21年中の状況(7月16日現在)

区分/支庁	石狩	渡島	檜山	後志	空知	上川	留萌	宗谷	網走	胆振	日高	十勝	釧路	根室	全道計
死者数	18	7	3	6	15	5	3	1	3	7	6	8	5	2	89
前年比	+4	-4	+3	+1	+4	-14	+1	+1	-1	-4	+4	-1	-3	+1	-8

(2) 平成21年7月中の発生状況(7/1~7/16)

区分/支庁	石狩	渡島	檜山	後志	空知	上川	留萌	宗谷	網走	胆振	日高	十勝	釧路	根室	全道計
死者数	2	0	0	2	6	0	0	1	0	2	0	1	0	0	14
前年比	+2	-2	0	+2	+5	-2	0	+1	0	+1	0	+1	-3	0	+5

(3) 平成21年上半年期の発生状況(1/1~6/30)

区分/支庁	石狩	渡島	檜山	後志	空知	上川	留萌	宗谷	網走	胆振	日高	十勝	釧路	根室	全道計
死者数	16	7	3	4	9	5	3	0	3	5	6	7	5	2	75
前年比	+2	-2	+3	-1	-1	-12	+1	0	-1	-5	+4	-2	0	+1	-13

(4) 過去5か年の夏の交通安全運動期間中(7/17~7/26)の交通事故死者数

死者数/年	16年	17年	18年	19年	20年	合計	平均
死者数	17	8	6	10	9	50	10.0

2 交通死亡事故の主な特徴

(1) 平成21年上半年(1月~6月)の特徴

- 前方不注意・操作不適によるものが多い
違反別では前方不注意や操作不適によるものが41人(前年比-1)と最も多く半数以上を占める。
- 65歳以上の運転者によるものが多い
第一当事者の年齢別では、65歳以上が18人(24.0%)で最も多い。
- 65歳以上の高齢者の死者が多い
死者年齢別では、65歳以上の高齢者の死者が39人(52.0%)で最も多い。
- 人対車両と正面衝突が多い
類型別では人対車両が23人と最も多く、次いで正面衝突が19人で、あわせて全体の56.0%を占める。
- 国道が多い
道路別では国道が36人(48.0%)で最も多く、ついで道道(22人)、市町村道(17人)の順となっている。

(2) 平成21年7月の特徴(7月16日現在)

- 車両相互による事故が多い
類型別では死亡事故11件中、車両相互の事故が8件の発生となっている。
- 高齢者の死者が多い
高齢者(65歳以上)被害の事故は6人(7月中の死者の42.9%)となっている。
※状態別 自動車運転中~3人、自動車同乗中~1人、自転車運転中~1人、歩行中~1人
- 平日、昼間の事故が多い
11件中7件(63.6%)の事故が平日の昼間の発生となっている。

3 主要都道府県の交通事故死者数

年	順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
平成21年		愛知	茨城	埼玉	大阪	東京	千葉	福岡	北海道	静岡	神奈川
(7/16)		118	114	111	110	103	95	93	89	89	85
現在		(-13)	(+23)	(-6)	(-2)	(-8)	(-14)	(-7)	(-8)	(-23)	(-3)
平成20年		愛知	埼玉	静岡	大阪	東京	千葉	福岡	兵庫	北海道	茨城
(7/16) 前		131	117	112	112	111	109	100	98	97	91

4 月別死者数(7月16日現在)

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	6月末	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計十
平成21年		12	7	11	10	15	14	75	14						89
平成20年		11	11	10	14	15	27	88	21	24	22	21	25	27	228
平成19年		18	20	15	17	23	16	109	35	38	36	27	24	17	286